

産業いきいき近畿

『産業いきいき近畿』では、産業の活動基盤となる情報・人物・物流などのネットワークの充実を図るとともにライフサイエンスなど近畿が強みを持つ産業の育成に資する整備を進めることを目的に、次の事業を行っています。

① 国際競争力の強化、関西経済の活性化のための都市基盤の強化

阪神港スーパー中枢港湾プロジェクトの推進

スーパー中枢港湾に指定された神戸港・大阪港において、大水深岸壁を備えたコンテナターミナル等の整備や両港の連携強化に向けた支援を推進しています。この取り組みにより、世界トップクラスのコスト・スピード・サービス水準の実現を目指します。

(詳細は本文P18参照)



神戸港・ポートアイランド2期地区 次世代高規格コンテナターミナル

臨海部アクセス強化による国際物流の効率化

港湾内及び港湾から背後地域への交通・物流の円滑化を図るために、大阪港夢洲トンネルの整備促進を図ります。

(詳細は本文P18参照)



夢洲トンネル

PIプロセスの実施による道路行政の推進

計画手続きの透明性、客観性、公正さを高めるために、市民等との双方向コミュニケーションを行うPIプロセスを推進しています。

(詳細は本文P19参照)



第一回淀川左岸線延伸部有識者委員会の様子

ライフサイエンス等の科学技術振興を支える都市基盤の整備

関西の国際拠点形成を支援するため、関西文化学術研究都市、神戸医療産業都市、西播磨科学公園都市、彩都(国際文化公園都市)などの学術研究都市の整備推進を図ります。

(詳細は本文P19参照)



彩都の全景

関西文化学術研究都市の支援

国家プロジェクトに位置づけられている「関西文化学術研究都市」への自動車アクセスの向上を図るため、地域高規格道路 学研都市連絡道路の整備を推進しています。

(詳細は本文P20参照)

学研都市連絡道路の一部である清滝生駒道路 (大阪府四条駅市) 【平成18年2月撮影】



② 地域活性化・観光振興を支える関西における広域連携ネットワークなどの基盤整備

地域活性化を支援する広域連携ネットワークの形成

各地域の自立的な発展や地域間の交流連携の促進等を目的に、国土構造の骨格となる広域連携ネットワークを形成する路線を重点的かつ効率的に整備します。

(詳細は本文P20参照)

広域連携ネットワークを形成する 北近畿豊岡自動車道 春日和田山道路 (兵庫県丹波市) 【平成17年11月撮影】



阪神港スーパー中枢港湾プロジェクトの推進

福井 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 三重
大阪港・神戸港

アジア域内において港湾間競争が激しさを増す中で、相対的にその地位を低下させている我が国港湾が国際物流の大動脈たる基幹航路ネットワークを維持していくため、アジアの主要港を凌ぐコスト・スピード・サービス水準を実現し、国際競争力の強化を図ります。

国際競争力の強化については、平成17年6月に設置された国際物流戦略チーム※において、様々な検討がされています。その一つに、スーパー中枢港湾「阪神港」の機能強化があります。

スーパー中枢港湾として、世界トップクラスのコスト・スピード・サービス水準を実現するため、大阪港に引き続き神戸港においても大水深岸壁(-16m)を備えた次世代高規格コンテナターミナルの整備に着手します。我が国最大となる水深16mを有する国際海上コンテナターミナルを新たに整備することにより、積載能力8,000TEUを超えるコンテナ船の入港が可能となり、物流コストの低減と国際競争力の強化が図られます。

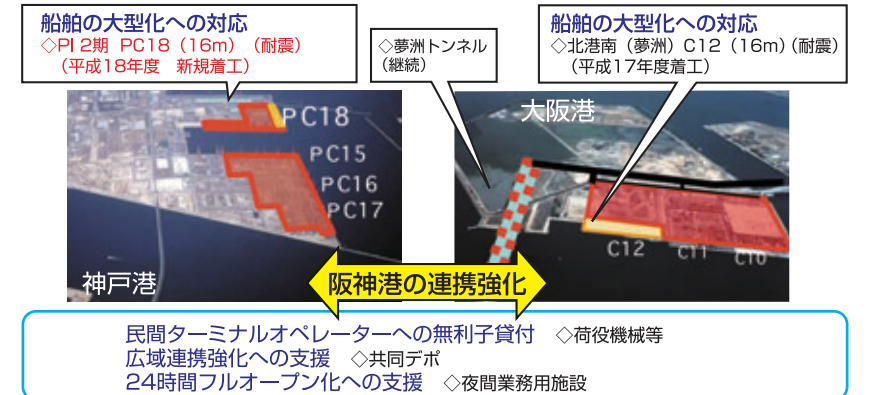
さらに、両港の連携強化に向けた支援や24時間フルオープン化に向けた支援を行うなど、スーパー中枢港湾プロジェクトの推進に取り組みます。

平成18年度には、神戸港PC18は、地盤改良、基礎工、本体ケーソン製作等の工事を行います。大阪港C12は、地盤改良、撤去工の工事を行います。

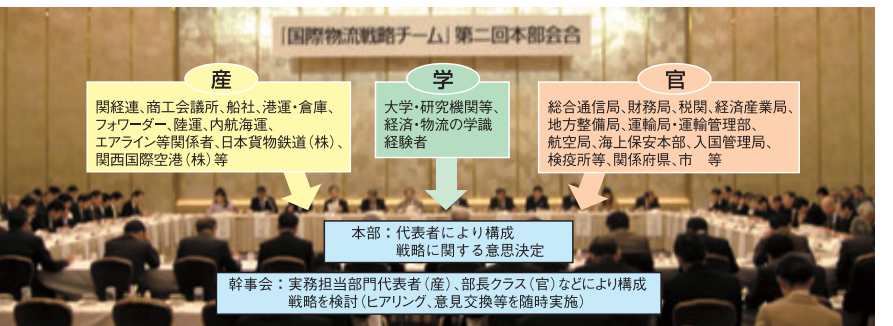
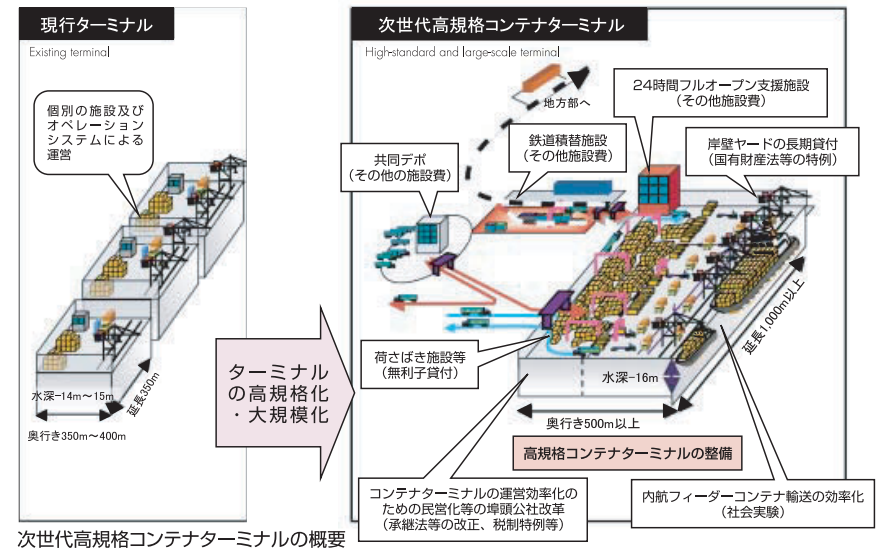
世界トップクラスのコスト・スピード・サービス水準の実現
港湾コスト：現状より3割低減を目指す。
リードタイム：現状3日程度を1日程度までに短縮 (シンガポールと同レベル)

用語解説

※ 国際物流戦略チーム
産学官が一体となって、スーパー中枢港湾「阪神港」や関西国際空港等の活用等を図りつつ、国際物流の効率化を通じた関西経済の活性化を目指すもの。



阪神港の連携



国際物流戦略チームの構成 事務局:関西経済連合会、国土交通省(近畿地方整備局、近畿運輸局、大阪航空局)

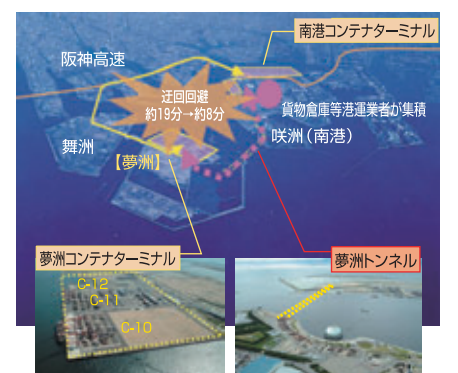
臨海部アクセス強化による国際物流の効率化

福井 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 三重
大阪港

海上物流ネットワークと陸域交通網との有機的な連携により、効率的な物流体系を形成するとともに、港湾内及び港湾から背後地域への円滑な物流の確保や交通渋滞の解消を図ることを目的に、大阪港において、夢洲～咲洲を結ぶ臨港道路(夢洲トンネル)の整備促進を図ります。

夢洲トンネルの整備により輸送距離が短縮され、物流コストの削減が可能になります。平成18年度には、夢洲側アプローチ部、咲洲側換気所、沈埋函等の工事を行います。

- 区間：夢洲～咲洲間 延長約2.1km (うち海底部800m)
- 構造：海底部(沈埋工法)、陸上部(開削工法)
- 規格等：道路(片側2車線)



夢洲トンネルの整備効果